

「熊本地震・東日本大震災報告写真展」報告書

熊本県ユニセフ協会では、東日本大震災で得た防災、減災の教訓を多くの方に伝え、危機管理についての認識を深めてもらおうと、2012年から毎年、写真展を開催してきましたが、2016年4月、想像もしなかった震度7の地震が二度もこの熊本の地を襲い、多くの県民が被災しました。

熊本県民の防災意識を深めるとともに熊本の創造的復興とさらなる発展を念頭に、2017年からは熊本地震取材した新聞各社の協力により東日本大震災と合わせて熊本地震写真展を開催してきました。今年は、被災地の状況、復興に向けての活動の様子、また県内被災地域の定点の3年後の状況などを中心に、熊本114点、東日本87点、合計114点の写真を展示しました。来場者は2週間で1,717人でした。

◆熊本地震・東日本大震災報告写真展 ～あの日を忘れない、そして・・・～

期日：2019年4月9日（火）より4月21日（日）まで 15日（月）休館

時間：平日／9：30～18：30 土・日・祝／9：30～17：15

会場：熊本県立美術館分館 1階展示室1 4階展示室3

主催：公益財団法人日本ユニセフ協会、熊本県ユニセフ協会、熊本県

共催：熊本市 特別協賛：株式会社ツカサ創研

4月9日（火）11：00～ オープニング式典（4階展示室3にて）

主催者挨拶 熊本県知事 蒲島郁夫 代理 知事公室政策審議監 原山 明博
熊本県ユニセフ協会会長 谷口 功（代読 世良喜久子 副会長）
（公財）日本ユニセフ協会 事務局長 遠藤 剛

来賓挨拶 熊本日日新聞社社長 河村 邦比児様

作文朗読 尚綱高等学校2年 井手麻那美さん

地震の経験を通して感じたこと、考えたこと、成長したことを発表



オープニング式典



1階展示室



4階展示室



4階展示室

熊本県ユニセフ協会

〒862-0949 熊本市中央区国府1丁目11-2 サンアイ水前寺ビル3F

TEL. 096(362)5757 FAX. 096(362)5758

「熊本地震・東日本大震災報告写真展」

決算書

2019年4月9日～21日

熊本県立美術館分館 1F・4F

収入の部

		予 算	決 算
日本ユニセフ協会	地域普及費仮受金	700,000	700,000
熊本地震支援寄付金	ユニセフを通しての全国からの寄付金	300,000	160,981
助成金	熊本放送文化振興財団	200,000	100,000
助成金	熊本県文化協会	100,000	150,000
協賛金		59,000	0
合 計		1,359,000	1,110,981

支出の部

		予 算	決 算
会場費	熊本県立美術館分館 展示室1 展示室3	300,000	275,240
パーテーション及び展示料	展示料一式及び看板代	800,000	597,780
写真製作費	新規写真製作費134,460 熊日写真貸出料48,600	154,000	183,060
印刷費	チラシ代	50,000	33,170
通信費	案内送料他	30,000	13,676
予備費(雑費)	スタッフ飲み物代4,810 文具他2,273 銀行振込料972	25,000	8,055
合 計		1,359,000	1,110,981

熊本県ユニセフ協会